

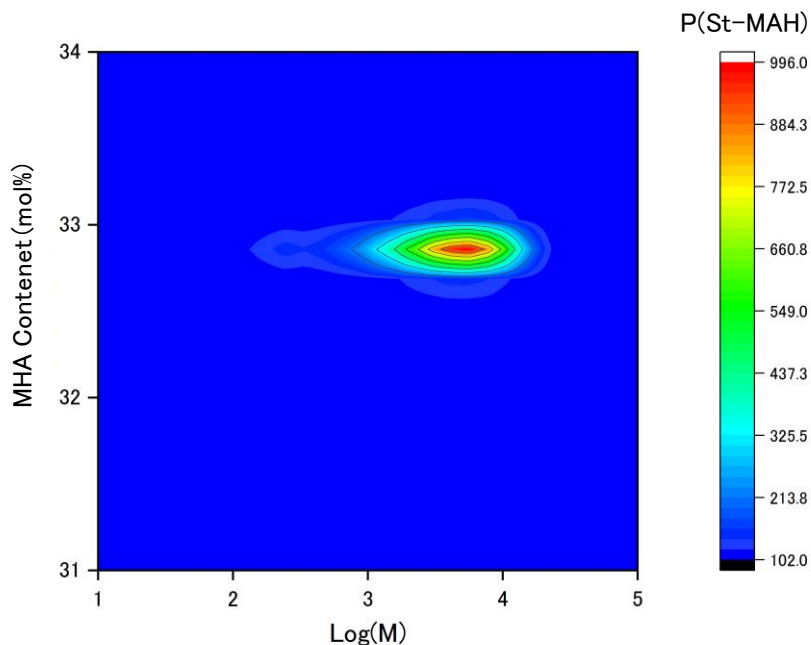
## 【技術資料】2D-HPLC 法による共重合体の組成分布解析(1) ～ スチレン-無水マレイン酸共重合体 ～

### 概要

HPLC 法は各種有機化合物やポリマーの分離分析に不可欠な手法です。このうち、2つの異なる分離モードを用いて試料の分離を行う 2D-HPLC(2 次元 HPLC)法は、特に共重合体の組成分布分析に有効な手法となっています。本資料では、2D-HPLC 法を用いてスチレン-無水マレイン酸共重合体(P(St-MAH))の組成分布分析を行った結果について紹介致します。

### 分析事例

今回は、無水マレイン酸含有量が 33mol% の P(St-MAH) (Polysciences Inc.製 No.03797-450, MW=7500) について、2D-HPLC 測定を行いました。得られた結果を図 1 に示します。



【図 1】P(St-MAH)の 2D-HPLC 分析結果

図1では、横軸は分子量の対数値、縦軸は無水マレイン酸含有量を示します。分析の結果、この試料の共重合組成は分子量によらず、ほぼ一定と考えられます。

適用分野：HPLC、GPC、SEC

材料キーワード：高分子、ポリマー、スチレン、無水マレイン酸、共重合体